

## 第10回 社会科学の発展を考える円卓会議



ひとつひとつ、社会を変える。

HITOTSUBASHI 150<sup>th</sup>  
SINCE 1875

# 多摩地域発インパクトスタートアップ エコシステムの中核拠点に

多摩地域の産学官民共創型インパクトスタートアップエコシステムの構築と  
スタートアップ人材の育成・支援

2025年7月24日

副学長（広報・社会連携、学長特命（研究IR））西野 和美

## 一橋大学の3つのVision

2025年、本学は創立150周年を迎える。

1875年に商法講習所として設立されて以来150年にわたって、本学は日本における政治経済社会の発展に資する研究を行い、その指導的担い手を育成し、輩出し続けてきた。この歴史と実績を踏まえ、これからの150周年を見据え、未来に向けて3つのVisionを掲げて取組を進めている。

### 指定国立大学法人構想

一橋大学がその使命と役割を担い続けるために、研究教育機関・経営体としての機能・基礎体力を強化する改革と成長戦略

### 第4期中期目標・中期計画

開放性・多様性・社会連携の強化  
(ひらく、つどう、つなぐ。)

### 創立150周年記念事業・記念募金

ひとつひとつ、社会を変える。"The Bridge to the Future"

#### I Captains of Industryたる人材の育成

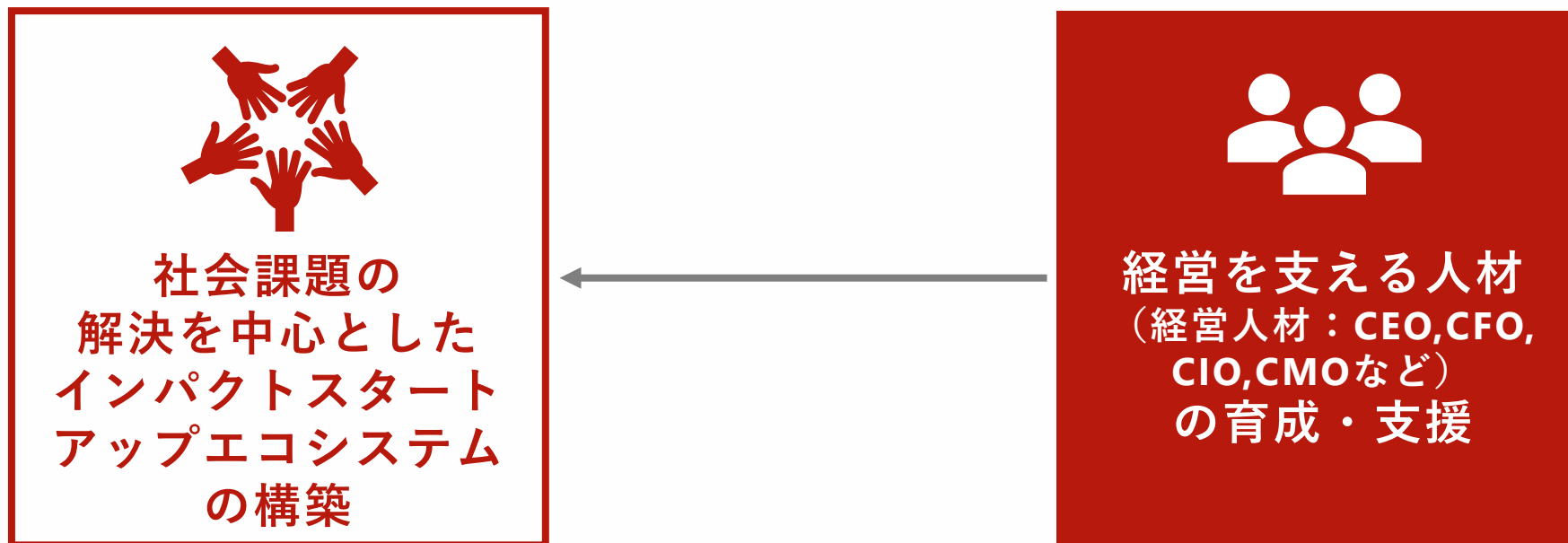
#### II 総合知の創出と社会還元

#### III 多様性に富む卓越した学術コミュニティの形成

従来の教育プログラムに加えて、**学生・卒業生への起業支援（インキュベーション拠点形成）**やリカレント教育の拡充など、多様な教育機会の創出により、次の150年を切り拓き、産業界のグローバルリーダーたり得る「個の力」を育てる。

## ■ 一橋大学における大学発スタートアップ創出支援の取組概要

本学は、多摩地域の産学官民共創型インパクトスタートアップエコシステムの構築を推進し、社会課題解決に貢献するスタートアップを創出し、その成果を社会に還元し、新しい産業を生み出すことを目指している。



- ✓ 本学が育成する優秀な経営人材をエコシステムに送り込むことで、事業計画の策定、法務・財務体制の構築、マーケティング戦略の立案など、スタートアップの経営面での強化が図られ、成長を加速させる。

## 一橋大学のスタートアップ支援の特長

本学のスタートアップ支援は、以下の点を特長としている。

### 社会科学系の強み

- 経済学、商学、法学といった社会科学系の知見が豊富
- 技術や知的財産だけでなく、ビジネスモデル、法務、経営戦略といった側面からのスタートアップ支援に強み
- 技術シーズに偏りがちな大学発スタートアップにおいて、事業化の成功確率を高める可能性

### 経営人材の育成

- 創立以来「Captains of Industry」の理念のもと、優秀な経営人材を多数輩出
- スタートアップを牽引するCEOだけでなく、CFO,CIO,CMOなどの経営人材の育成・支援に注力

### 卒業生ネットワーク

- 起業家やビジネスリーダーとの交流機会の提供
- メンターシップや資金調達の機会創出に貢献

### 多摩地域との連携

- 多摩地域の大学、自治体、企業・金融機関、地域住民との連携を重視した地域に根ざしたエコシステムの構築

## ■ これまでのスタートアップ支援実績

01

大学発ベンチャー称号授与規則等の整備

02

インキュベーション・スペースの整備

03

スタートアップ支援専任人材の確保

04

起業・法務・経営に関する相談窓口  
の開設

05

シーズ掘り起こしのためのイベント開催

06

ネットワーキング交流会開催

07

スタートアップ支援に関する情報発信  
チャンネルの開設

08

交流の場の形成

09

シーズ探索・シーズリストの構築

10

アクセラレータプログラムの構築・実施



## 01

## 大学発ベンチャー称号授与規則等の整備

令和6年12月1日付で一橋大学発ベンチャー称号授与制度を開始。

令和7年1月15日付で「一橋大学発ベンチャー」第1号として株式会社Jizoku、「一橋大学発学生ベンチャー」第1号として株式会社VoiceCastに称号を授与した。

## 認定ベンチャーへの支援の内容

- ① 大学発ベンチャー／大学発学生ベンチャーロゴマークの使用許可
- ② インキュベーション施設等の利用許可
- ③ 本学の施設の商業登記許可
- ④ 郵便物等の収受の便宜
- ⑤ 本学主催の各種イベント、広報誌等での広報
- ⑥ 本学等が実施するベンチャー支援関係イベントについて案内・参加促進



## 02 インキュベーション・スペースの整備

令和7年3月1日、本学（卒業生含む）のみならず、多摩地域の大学、自治体、企業、金融機関、地域住民などが参加しやすいようにJR中央線国立駅近くに「一橋大学インキュベーション・ベース（HIB）」を開設。

## 03 スタートアップ支援専任人材の確保

専任人材をコミュニケーターとしてHIBに配置することで、日常的に学生や教員と交流するとともに、利用者同士の交流を促進。

## 04 起業・法務・経営に関する相談窓口の開設

専任人材がHIBにおいて、学生や教員からの相談に随時対応するとともに、より専門的な相談を顧問弁護士事務所へとつなぐ体制を構築。





05

## シーズ掘り起こしのためのイベント開催

スタートアップ創出に向けて、シーズ掘り起こしのためのイベントを開催中。

一橋大学は、東京都が行う「大学発スタートアップ創出支援事業」に採択されました。

スタートアップ設立セミナーシリーズ Vol. 1

**研究成果の事業化について**

～東京大学大学院工学系研究科（データサイエンス分野）の実例の紹介～

対象：本学教員

本学教員に向けて、研究成果の事業化について他大学の事例を紹介



起業家マインドとビジネスの裏側(2025年4月30日)

スタートアップ設立セミナーシリーズ Vol. 2

ゼロからビジネスアイデアを生み出す

**アイデア発想 & ビジネスモデル作成体験会**

参加者募集

就職活動を有利に進めたい、起業したい、将来的に会社を引き継ぐ予定がある…どんな方でも参加OK。学部や学年を超えて仲間を見つけ、真実に打ち込むものを見つけてませんか？

アイデア発想法からアイデアをビジネスモデルへと形にするワークショップを開催

2月28日(金) 15:00～17:00

対象：大学の学生、高校生



先輩起業家から学ぶ！スタートアップというキャリアの選択肢(2025年6月25日)

**Hitotsubashi Incubation Base**

【HIB ラボ】  
起業家マインドとビジネスの裏側

実は今、大企業でも「起業家マインド」を持つ人の重要性が高まっています！  
「起業家マインドがなぜ普通の会社員にも重要なのか!?」  
「起業家マインドをいち早く身に着けるとどうなるのか!?」  
企業で起きている実態と必要となるスキルについてお話しします！

「一橋大学インキュベーション・ベース（HIB）」において、毎月イベントを開催。本学学生のみならず、対象を他大学生や近隣の高校生にまで拡げることで、多摩地域のスタートアップへの関心と理解を深めることを目指す。

開催日時 ▶ 令和7年4月30日(水)  
開催場所 ▶ 一橋大学インキュベーション・ベース (HIB)  
講師 ▶ 柳幸  
対象 ▶ 一橋大学の学生・卒業生・教職員、大学の学生、高校生  
お申込み ▶ 次の申込フォームからお申し込みください。

**Hitotsubashi Incubation Base**

【HIB ラボ】  
スタートアップで描く未来のキャリア

スタートアップ企業に転職したキャリア・年代・性別も異なる2名が登場！「起業家マインド」を持って事業を推進し、展開しているリアルなお話を聴きながらお話しします！

開催日時 ▶ 令和7年5月28日(水) 16:00～17:00  
開催場所 ▶ 一橋大学インキュベーション・ベース (HIB)  
東京駅丸の内線1-15-11 448ビル 3F SEEDPLACE 内  
講師 ▶ ワンアンドプリー株式会社 付間 健太、武松 健佳  
対象 ▶ 一橋大学の学生・卒業生・教職員、大学の学生、高校生

【HIB ラボ】  
先輩起業家から学ぶ！  
スタートアップというキャリアの選択

スタートアップとは？起業家とは？  
「起業家マインド」がなぜ普通の会社員にも重要なのか!?  
「起業家マインドをいち早く身に着けるとどうなるのか!?」  
企業で起きている実態と必要となるスキルについてお話しします！

開催日時 ▶ 令和7年5月28日(水) 16:00～17:00  
開催場所 ▶ 一橋大学インキュベーション・ベース (HIB)  
東京駅丸の内線1-15-11 448ビル 3F SEEDPLACE 内  
講師 ▶ Plug and Play Japan 執行役員 COO 内木 達  
対象 ▶ 一橋大学の学生・卒業生・教職員、大学の学生、高校生



06

## ネットワーキング交流会開催

ネットワークの構築に向けて、以下のようなネットワーキング交流会を開催中。



2025年1月28日開催イベント（参加者120名超）

【一橋生対象・参加費無料】商学部主催キャリア系イベント開催！！

「ちょっと、社長に会ってみたい？」

一橋生×OB社長交流会

全学部・全院生対象の商学部主催のキャリア系イベントです！  
本学OBの次世代トップリーダー6名が集結し「経営のリアル」を語ります。  
スタートアップやベンチャーで働くことに興味のある人、起業を志す人、  
色んな生き方に出会いたい人などなど、一橋生であればどなたでも歓迎です。  
変化の激しい時代において、「起業家マインド」で大成功した先輩たちと  
「ざっくばらん」にトークしてみませんか？

開催日：2025年1月28日(火)

時 間：16:00～18:00(15:30開場)

【アトラクション】

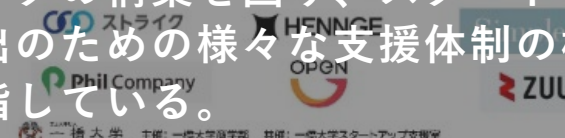
16:00～16:40 トークセッション

16:40～18:00 交流会（スナック、ドリンクあり）

会 場：マーキュリーホール(マーキュリータワー7F)

定 員：150名

本学卒業生である起業家たちと起業に関心を持つ学生たちが直接交流する場を提供。  
本学卒業生を中心とした起業家ネットワークの構築を図り、スタートアップ創出のための様々な支援体制の構築を目指している。



## 06

## ネットワーキング交流会開催

## ■ スタートアップ分科会

2025年5月、スタートアップの経営に関わる人々とスタートアップの支援に関わる人々をつなぐ場として、本学ビジネススクールの在学生や修了生を中心としたスタートアップ分科会を設立。社会に新しい価値を提供できるような一橋ビジネススクール発のスタートアップエコシステムの構築を目指している。



2025年5月31日開催イベント（参加者90名超）

## ● 設立目的：

- ① スタートアップの社会的価値と経済的価値の向上に寄与する経営人材の輩出
- ② スタートアップエコシステムの構築
- ③ スタートアップ業界における一橋ビジネススクール同窓生の影響力向上とネットワーク強化

● 活動内容：スタートアップ経営者、VCパートナー、スタートアップ企業伴走支援組織トップ等をお招きした講演会・勉強会・ネットワーキング交流会の開催

● 対象：一橋ビジネススクールの在学生・修了生・教員、他大学発ベンチャー等の外部機関



07

## スタートアップ支援に関する 情報発信チャネルの開設

X・Instagram・Facebook・YouTubeを開設し、HIBを中心とした本学のスタートアップ支援に関する取組を随時発信することで、学内外のスタートアップへの関心と理解の向上を図っている。

08

## 交流の場の形成

Slack上にイベント参加者を中心とした「交流の場」を開設し、単発のイベント参加で終わらせることなく、参加者がイベント終了後も情報を共有したり、ネットワーク形成に向けてのつながりを生み出している。

09

## シーズ探索・シーズリストの構築

シーズの掘り起こし作業を組織的に行うことで、学内のスタートアップ候補を明確にし、支援対象の見込みを立てる。

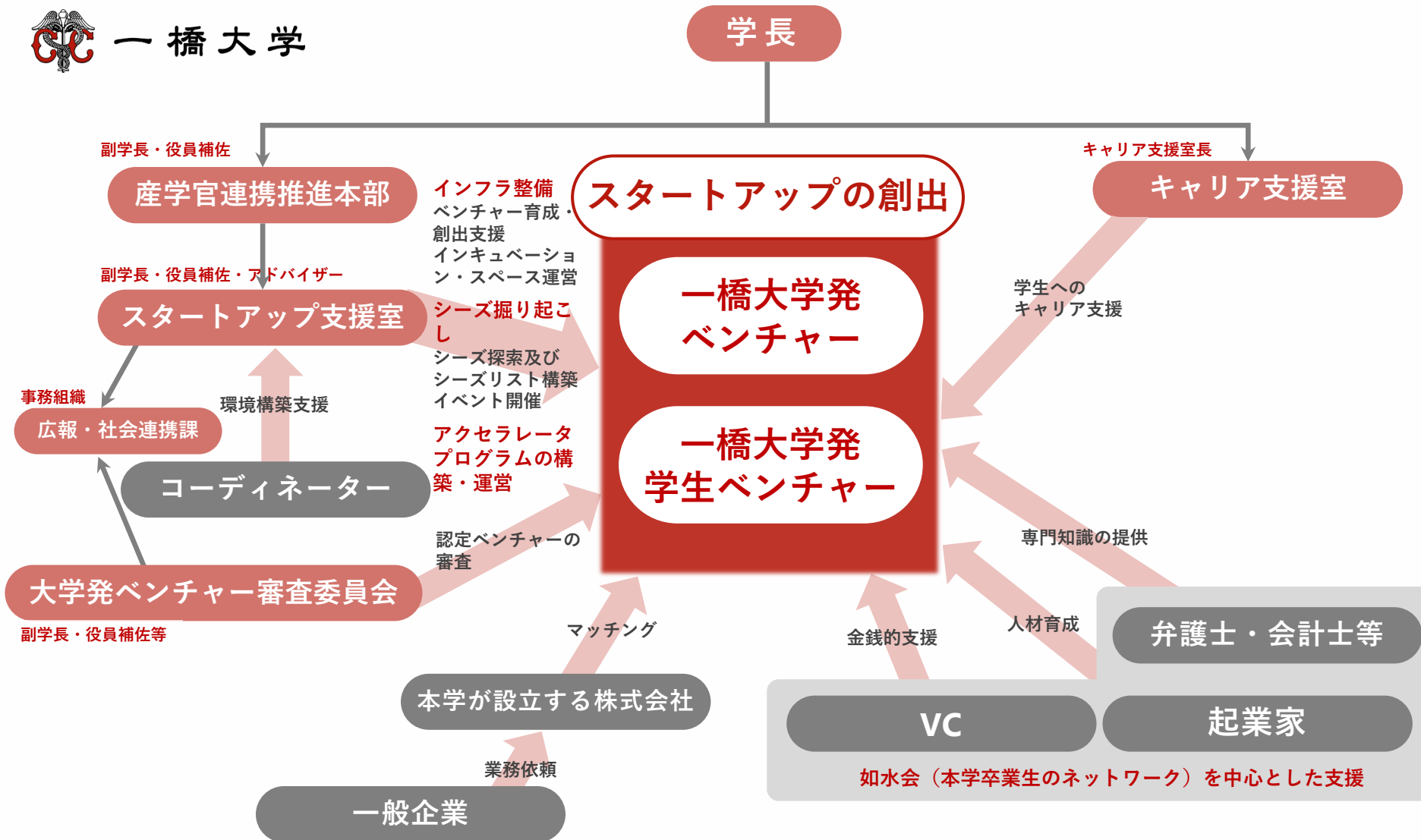
10

## アクセラレータプログラムの構築 ・実施

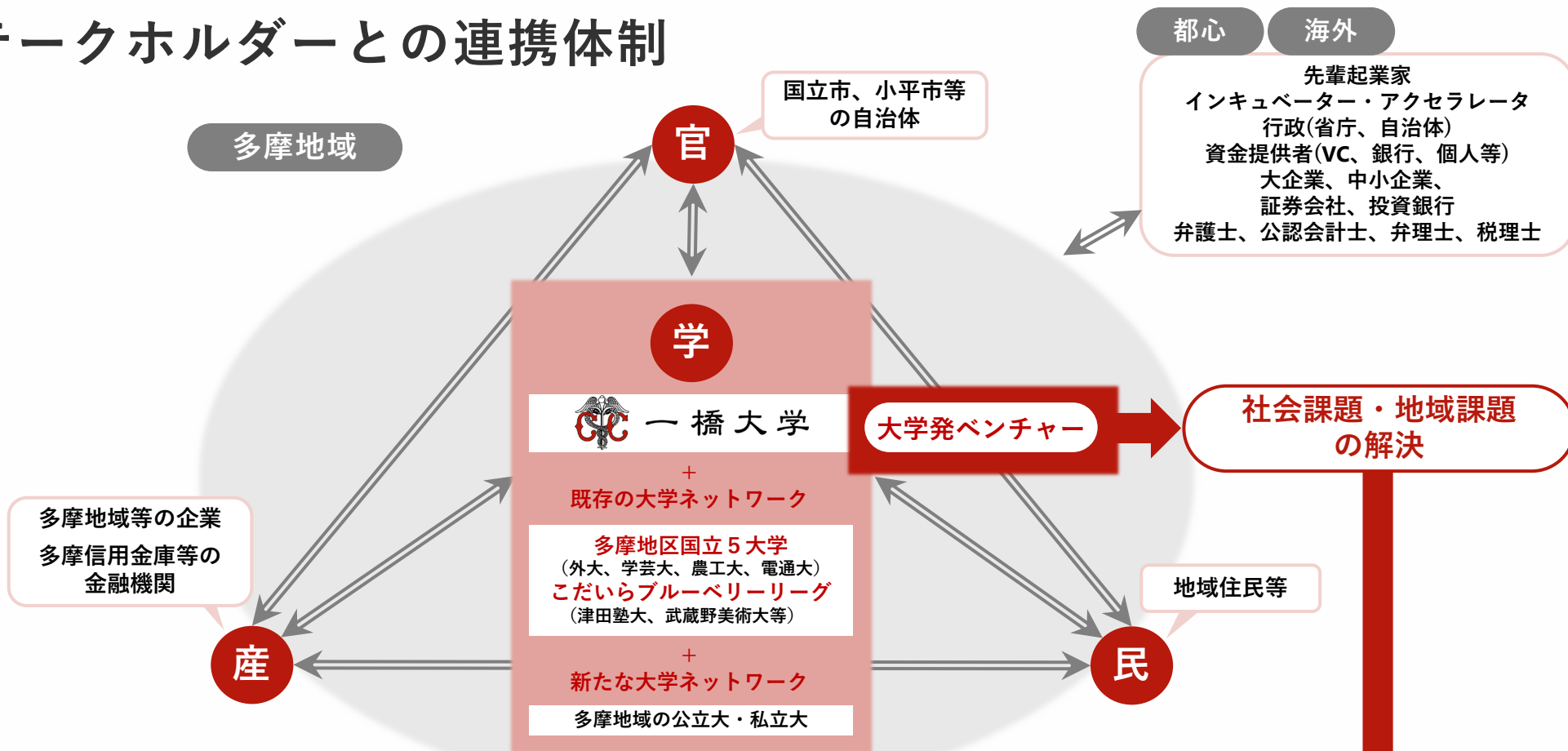
アクセラレータプログラムを構築し、選抜された事業化ポテンシャルのあるアイデアに対してメンタリングなどのサポートを行うことで、アイデアを洗練化させ、スタートアップに資する事業計画の作成を支援する。



## 实施体制



## 他ステークホルダーとの連携体制



- ◆ 多摩地域の産官学民共創型インパクトスタートアップエコシステムの構築
- ◆ 社会課題解決型スタートアップ創出の仕組みを社会実装し、その成果を社会に還元、新しい産業を創出

## ■ 今後の展開：他機関との連携強化、本学設置株式会社の活用

### 多摩信用金庫との産学連携に関する連携協定の締結

- スタートアップの創業支援や産学連携マッチングによる連携を通じて地域社会や中小企業の発展に貢献
- 本学のインキュベーション・ベースで開くセミナーに多摩信金が職員を派遣。学生・教員らとの個別面談等を実施し、新たなビジネスを担う人材育成を強化



連携協定調印式（2025年6月26日）

### 産総研とのマッチングファンドの創設

- 本学と産業技術総合研究所は、文理融合によるイノベーション創出に向けた包括連携協定を2016年に締結
- これまでの取組に加え、社会課題の解決に資するイノベーション創出に向けた共同研究を加速させるため、マッチングファンドを創設。2025年度から新たに8件の共同研究がスタート

### 本学設置の株式会社の活用

- 本学が持つ先端的な研究成果や知見を社会に還元することを目的として、本学100%出資の株式会社を今年度中に設置予定
- 企業等へのコンサルティング、研修・講習会の実施、経営人材育成プラットフォームの運営等を通じて、学術と産業の橋渡しを担い、社会全体のイノベーションを推進